

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

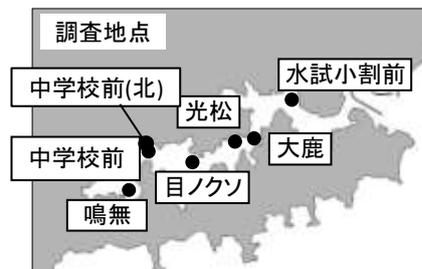
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で14,500cells/ml、ケラチウム属が最高で500cells/ml、シャットネラ属が最高で2cells/ml確認されました。

カレニアは大鹿以外の観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。
ケラチウムも鳴無、中学校前、目ノクソで漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。
これらは今後さらに増殖する危険性があります。餌止めを行うなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	ケラチウム属	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	5	0	0	67,900
	2m	10,700	500	0	2,200
	透明度:1.0m	5m	930	22	0
目ノクソ	0m	7	1	0	55,800
	2m	7,000	150	1	4,300
	透明度:2.0m	5m	235	49	0
光松	0m	3	0	0	39,700
	2m	149	44	2	2,550
	透明度:2.4m	5m	2,250	70	0
大鹿	0m	2	0	0	40,400
	2m	38	21	0	3,900
	透明度:2.7m	5m	245	4	0
水試小割前	0m	1	2	0	31,700
	2m	90	8	0	2,050
	透明度:2.0m	5m	340	2	0
鳴無	0m	1	0	0	
	2m	10,000	190	2	
	透明度:1.6m	5m	1,150	3	0
中学校前(北)	1.3m	14,500	16	1	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属:
100cells/ml(餌食いの悪化)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>